

令和7年度 障がい者の生活ニーズ実態調査(概要)

1. 調査の目的

「第5次大阪府障がい者計画」の計画期間の約半分が経過し、社会状況等も変化するなかで、現在の障がい者の生活の実態やニーズを適切に把握し、次期計画に反映するとともに、今後の障がい者施策の着実な展開に活用するために実施する。

2. 調査の方法

(1) 調査対象者

府内在住の身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所持者及び自立支援医療(精神通院)受給者、発達障がい児者、難病患者合わせて 8,000 人。

内訳

- ・身体障がい 3,600 人(前回比 -200人)
- ・知的障がい 2,100 人(前回比 +100 人)
- ・精神障がい 1,500 人(前回比 +100 人)
(精神障がい保健福祉手帳所持者:750 人 自立支援医療(精神通院)受給者:750 人)
- ・発達障がい 400 人
- ・難病 400 人

(2) 調査方法

各障がい者手帳所有者については、台帳から調査対象者を無作為抽出し、郵送により調査票を対象者に配付。自立支援医療(精神通院)受給者及び難病患者、発達障がい者については、精神科病院や団体等を通じて調査票を配付。回答は、郵送(無記名)またはオンラインによる。

3. 調査時期

令和7年8月から9月

4. 参考

前回調査の回答率は、以下のとおり。

内訳

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ・身体障がい:45.7%(1,736 人) | ・知的障がい:42.6%(851 人) |
| ・精神障がい:40.1%(562 人) | ・発達障がい:55.0%(220 人) |
| ・難病:48.3%(193 人) | |